

ズマド山道迷い(2018年3月)

山頂からの下りでの道迷い。スマホのGPSはなぜか画面が真っ白。夕方でもうすぐ暗くなると焦りが冷静さを失なった。山頂に戻ると人がいて事なきを得た。



解説

山頂からの下り出しは道がはっきりしていたが、すぐに足元がふかふかになった。「あれっ。おかしい」とスマホを確認したが、画面がなぜか真っ白。紙地図を広げて見るが夕方になり、焦りがあったため現在位置がよくわからない。

周りを見ると、下の方にピンクテープが見える。思わず、下ってみるが、あるはずのピンクテープがない。パニックで思わず「遭難」の文字が頭に浮かぶ。気が付くと四つん這いになりながら、元来た道をズマド山へ登り返していた。

山頂には人がいて、落ち着き、スマホのGPSを確認すると画面は正常に見ることができた。山頂にいた人と一緒に下った。

道迷いは、分かるところまで戻ることが基本だが、「冷静」になることが一番大切。「落ち着け、落ち着け」と念じて簡単に落ち着くことはできない。モグモグタイムやごくごくタイムは僅かな時間だが、冷静さを取り戻すためには必要な行動といえる。ぜひ、試してほしい。